

## 千葉県護国神社 令和3年度秋季例大祭奉仕活動

千葉県護国神社例大祭(春季、秋季)における奉仕活動は、神社関係者やご遺族から感謝され、千葉県隊友会の主要事業として定着しております。

今回も新型コロナウイルスの影響で10月10日(日)の秋季例大祭における車両統制等の奉仕活動は実施できませんでしたが、10月2日(土)午前に清掃作業の奉仕活動を実施しました。

9月30日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言は解除されましたが、引き続きマスク着用などの基本的対策を徹底して実施しました。

今回の参加者は合計31名、満園沼南支部長、川村館山支部長、若梅山武東金支部長、阿比留柏支部長、今瀬千葉中央支部長、河野顧問、神原会長、菊地副会長を含め、千葉中央(2名)、千葉美浜(2名)、船橋(4名)、習志野(1名)、松戸(2名)、流山(1名)、柏(3名)、沼南(6名)、館山(1名)、山武東金(8名)の支部会員が参加しました。千葉県郷友連盟からは、鈴木会長以下13名の方が参加されました。

作業はいつもどおり、早めに到着した会員から始められました。境内は前日通過した台風の影響で大小の枝葉が広く飛散し、またこれまで以上に草木が生い茂り、さらに気温が上昇するなど、会員にとっては非常に過酷な作業環境ではありましたが、途中休憩を取りながら黙々と作業を実施していただきました。

休憩時間においては、竹中宮司からこれまでの奉仕活動に対する謝意と令和4年度の新境内(千葉市若葉区桜木)における春季例大祭においても、引き続き隊友会の支援が不可欠である旨挨拶がありました。また、各支部の代表、鈴木郷友連盟会長及び神原会長から現況等を話してもらい、参加者間の相互理解を深めることができました。

作業後は、本殿をバックに集合写真を撮った後に、奉仕の節目として総員で五万七千余柱の神霊に対し、拝礼しました。

現境内における奉仕活動は今回で最後になります。これまでご協力いただいた、多くの会員の皆様にはこの場をお借りして深く御礼を申し上げます。

次回春季例大祭における奉仕活動の具体的な内容については、まだ調整中ではありますが、車両統制の他、ご遺族の誘導、受付などが予想されます。

なお、平成23年に建立された特攻勇士の碑も新境内に移転されます。

千葉県護国神社担当理事役 三浦 洋



